

## コロンビア・日経奨学金、中国出身のジャーナリスト 姜昕林氏に決定

米コロンビア大学ジャーナリズム大学院（ニューヨーク、ジェラニ・コブ大学院長）はこのほど、アジア人記者・学生を対象にした「コロンビア・日経スカラシップ（奨学金）制度」の第7回奨学生を中国出身のジャーナリスト姜昕林（ジャン・シンリン）氏（23、写真）に決定いたしました。同制度は株式会社日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷部剛）と同大学院が2017年に共同での創設で合意。姜氏は2025年8月まで同大学院でデータジャーナリズムを研究します。

四川省成都市出身の姜氏は米ウィスコンシン大学マディソン校で2024年5月にジャーナリズムとコミュニケーション学を修めました。2022年にはマディソン市で中国人学生向けのニュースメディアの編集長に就任。姜氏は「このスカラシップにより世界で最良のジャーナリズム教育を受ける好機を得られました。複雑な情報を伝えるためにチャートやグラフの活用方法を学ぶことができ、心が躍ります。大学時代にマディソン市におけるアジア系住民への嫌悪をテーマにしたレポートを制作しましたが、これからも普段顧みられることの少ない人々の声を届けていきたい」と話しています。



「コロンビア・日経スカラシップ制度」では、コロンビア大学ジャーナリズム大学院がアジア全域を対象に将来有望なジャーナリストを毎年1人選出し、日経がこれを承認。奨学生は10万ドル（約1500万円）の奨学金を得て、データジャーナリズムや経済報道などについて学びます。修士号を取得後はそれぞれの母国・地域に戻り、民主主義の根幹をなす「言論の自由」に基づく健全なジャーナリズムを根付かせる先導役を担います。

コロンビア大学ジャーナリズム大学院について

コロンビア大学は1754年創立の全米でも5番目に古い伝統校で、80人超のノーベル賞受賞者が輩出しました。1912年創立のジャーナリズム大学院は1917年からピューリッツァー賞を運営。研究分野は調査報道、放送、マルチメディア、芸術など多岐にわたり、2010年には大学院内にデジタルジャーナリズム・センターを設置して将来のメディアのあり方を研究しています。

詳しくはこちら [www.journalism.columbia.edu](http://www.journalism.columbia.edu)

---

#### 日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年以上にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は137万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は117万です。

#### 本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:[\(03\)3270-0251](tel:0332700251) (代表)